

自己表現 評価の在り方

1 考え方

- 「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力」である「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているかを評価する。
- 「評価の観点」は、次のア、イ及びウの3つとし、その「評価規準」と合わせて全校共通とする。
- 検査官からの質問に対する受検者の回答も評価に含める。
- 「評定」は、4点を基準とし、評価の観点ごとに、5点(「十分に満足できる」状況と判断されるもの)、4点(「おおむね満足できる」状況と判断されるもの)及び3点(「努力を要する」状況と判断されるもの)のいずれかで評価する。
- 自己表現の得点(評定の合計)は、簡易開示の対象とする。

2 配点

- 検査官1人当たり15点満点(3観点×5点満点)

3 評価表

評価の観点			
	ア 自己を認識する力	イ 自分の人生を選択する力	ウ 表現する力
評価規準			
評価及び評価の視点			
	自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのかなど、自分自身のことを認識することができる。	自分の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる。	自分自身のことや自分の意見などを、相手に理解してもらえるように、相手や場面に応じて、言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。
評定			
5点	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 ○ 「自分自身のことを認識する」ことが十分にできている。	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 ○ 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことが十分にできている。	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 ○ 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることが十分にできている。
4点	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 ○ 「自分自身のことを認識する」ことがおおむねできている。	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 ○ 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことがおおむねできている。	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 ○ 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることがおおむねできている。
3点	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 ○ 「自分自身のことを認識する」ことができていない。	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 ○ 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことができていない。	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 ○ 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることができていない。